

平成26年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

平成26年9月
瀬戸内市教育委員会

- | | | | | | | | |
|---|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 目的 | 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施設の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 | | | | | |
| 2 | 実施対象学年 | 市内全小学校第6学年及び中学校第3学年 | | | | | |
| 3 | 実施日時 | 平成26年4月22日 | | | | | |
| 4 | 実施内容 | 学力状況調査 | 小学校 | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B |
| | | | 中学校 | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B |
| | | 学習状況調査 | | | | | |

1 平成26年度 小学校6年生の結果

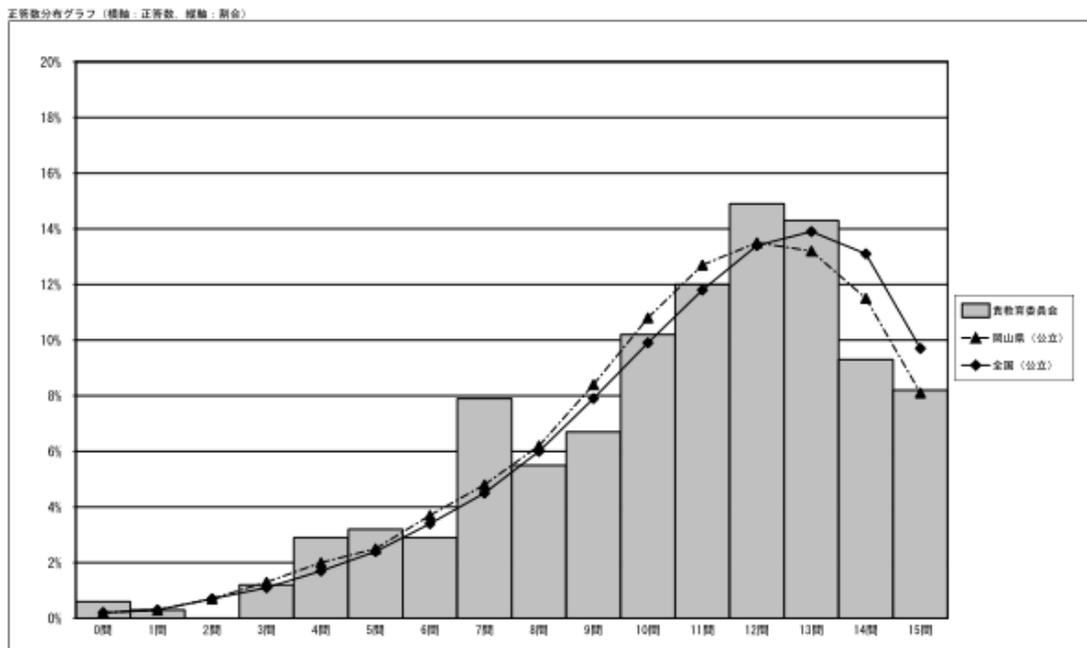
【国語】

○平均正答率（単位：％）

*（ ）内は全国との差

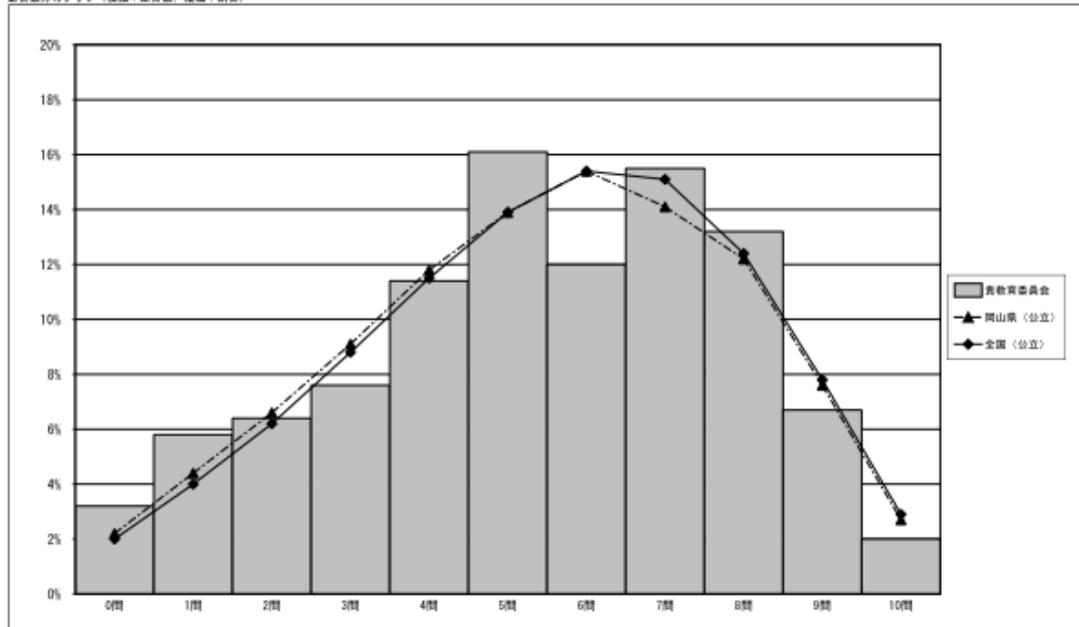
	国語A（基礎）	国語B（活用）
全 国	72.9	55.5
岡 山 県	71.4	54.5
瀬戸内市	70.6（▲2.3）	53.4（▲2.1）

○正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：分布人数の割合）
（小学校6年 国語A）



(小学校6年 国語B)

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



【算数】

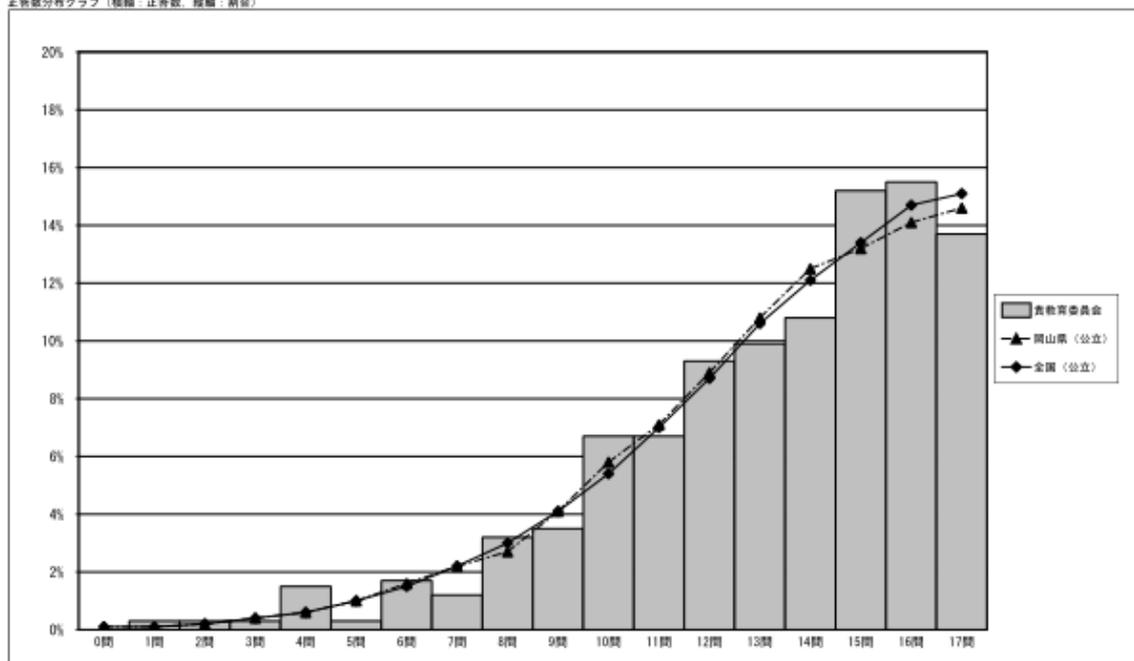
○平均正答率 (単位：%)

* () 内は全国との差

	算数A (基礎)	算数B (活用)
全 国	78.1	58.2
岡 山 県	77.8	56.6
瀬戸内市	77.9 (▲0.2)	56.3 (▲1.9)

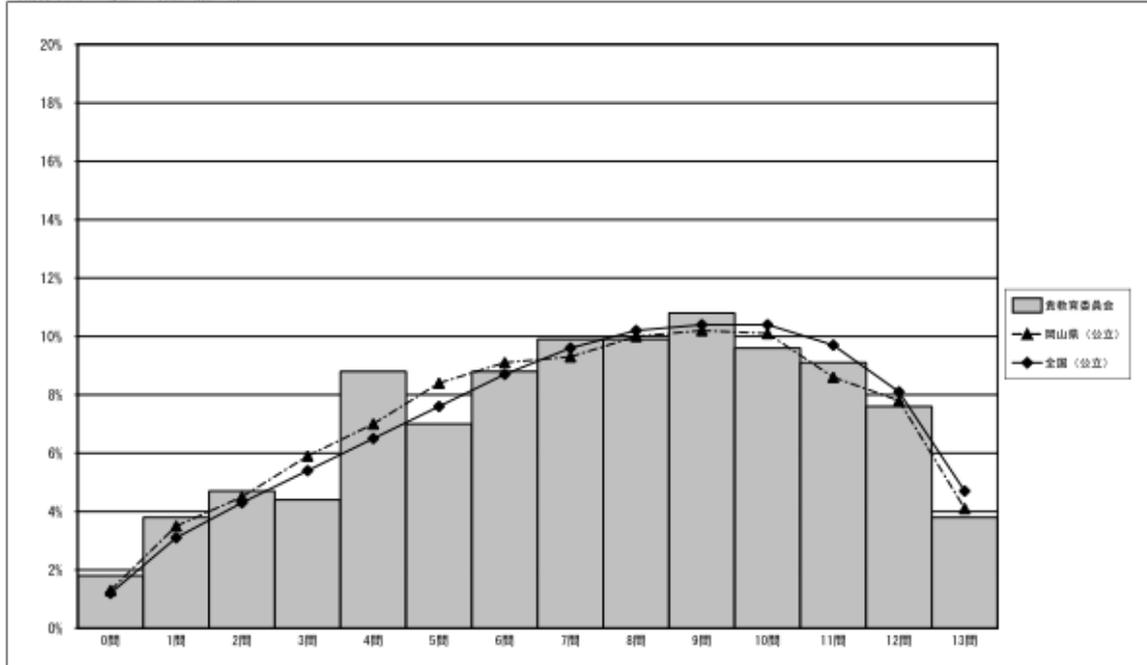
○正答数分布グラフ (横軸：正答数 縦軸：分布人数の割合)
(小学校6年 算数A)

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



(小学校6年 算数B)

正答率分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



(調査結果の概要)

○国語A

平均正答率は全国平均と県平均を下回っています。書く設問の正答率が全国平均と比較しても高くなっています。各学校において既習の漢字を繰り返し復習する取組の効果が現れました。

故事成語の使い方として適切なものを選択する問題と、新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する問題に課題が見られました。

○国語B

平均正答率は全国平均と県平均を下回っています。話し合いの中で質問をした人の質問の意図をとらえる問題では、全国平均と比較して正答率が高くなっています。

疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く問題と、詩の表現の特徴として適切なものを選択する問題に課題が見られました。

○算数A

平均正答率は全国平均と県平均とほぼ同程度です。四則混合の計算をする問題で、正答率が全国平均より高くなっています。各学校で既習内容の基礎的・基本的な計算問題に繰り返し取り組んだ成果が現れたものだと思います。

コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ問題についても、正答率が全国平均と比較して高くなっています。

1 cm³ の立方体を基に、示された直方体の体積を求める問題と、立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係についての理解を問う問題で課題が見られました。

○算数B

平均正答率は全国平均と県平均を下回っています。特に、全体と部分の関係を示すために用いるグラフを適切に選択する問題、示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述する問題、繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述する問題、畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかくに問題に課題が見られました。

2 質問紙調査の結果

全国平均と比較した瀬戸内市の子供たちの現状
肯定的に答えた割合が全国よりも高い項目

項 目
○ 今住んでいる地域の行事に参加している。
○ 5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
○ 5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。
○ 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館によく行く。
○ 学校のきまりを守っている。
○ 調査問題の解答時間は十分である。（国語B・算数A）
○ 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることに困難さをあまり感じない。
○ 朝食を毎日食べている。
○ 新聞を読んでいる。

肯定的に答えた割合が全国よりも低い項目

項 目
● 学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたら、誰かに相談する。
● 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりの読書時間。
● 授業の中で分からないことがあったら、誰かに質問する。
● 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える。
● 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動への取組。
● 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
● 普段（月～金曜日）、1日当たりテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間。
● 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読む。

（ 質問紙調査からみられる本市の特徴 ）

- 地域の行事に参加している割合は全国平均よりかなり高く、地域との関わりを大切にしている様子がうかがえます。
- 学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたら、誰にも相談しないと回答した児童の割合が28%で、全国の21%と比べて高くなっています。
- 学校図書館・学校図書室や地域の図書館によく行くと回答した児童の割合が高いのに対し、1日の読書時間が短いのは、図書室や図書館への興味関心が高く、読書は図書室や図書館で行う児童が多い様子がうかがえます。
- 授業で分からないことがあったときに、誰かに質問すると回答した割合が低いのは、誰にも相談せずに分からないままになっている児童が多い様子がうかがえます。

3 平成26年度 中学校3年生の結果

【国語】

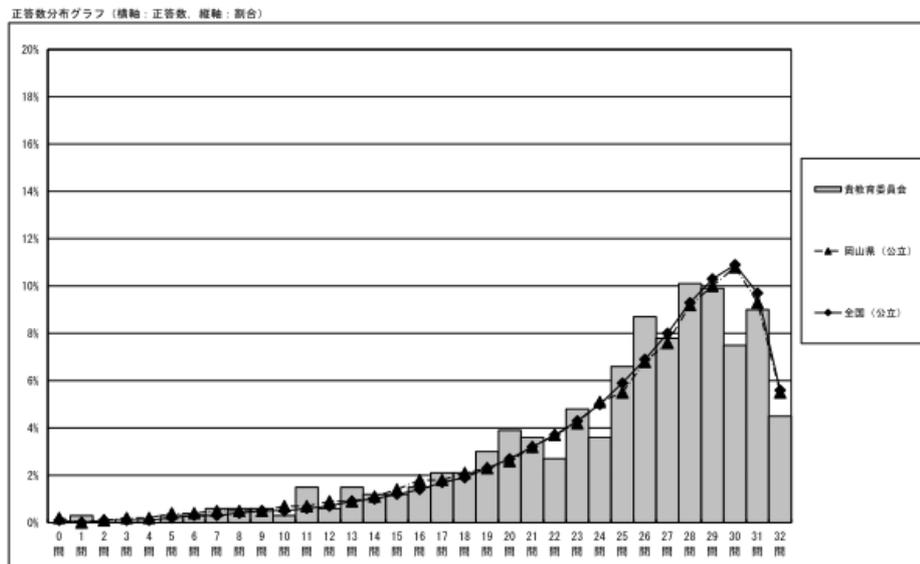
○平均正答率（単位：％）

*（ ）内は全国との差

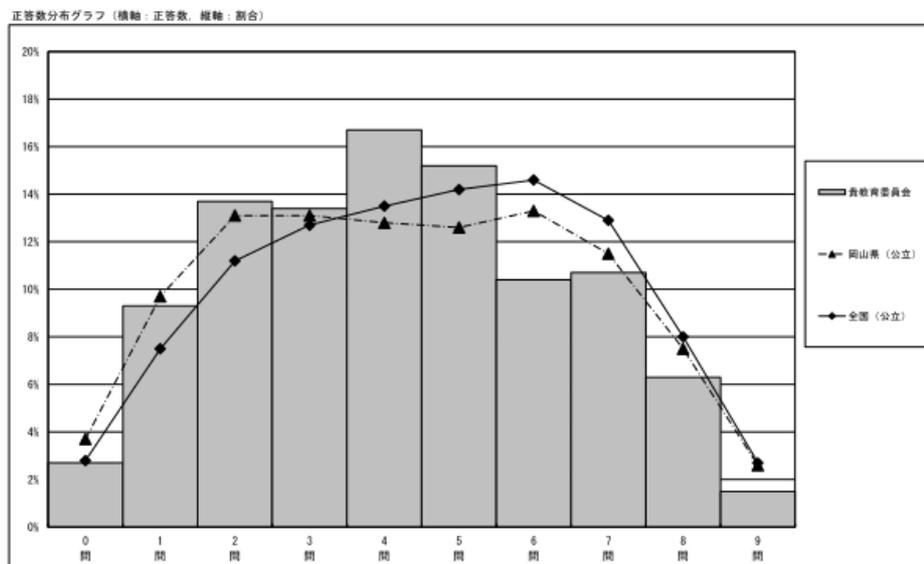
	国語A（基礎）	国語B（活用）
全 国	79.4	51.0
岡山県	78.2	48.1
瀬戸内市	77.3（▲2.1）	46.8（▲4.2）

○正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：分布人数の割合）

（中学校3年 国語A）



（中学校3年 国語B）



【数学】

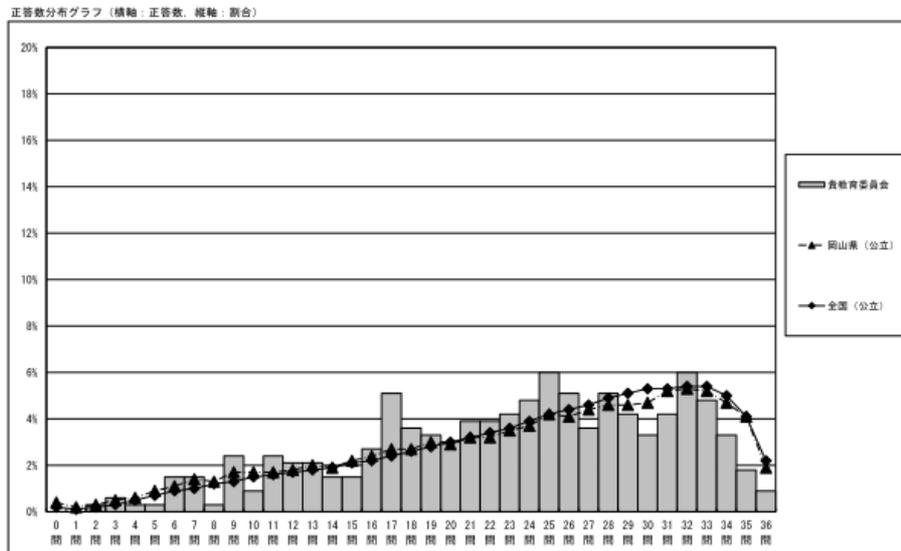
○平均正答率（単位：％）

*（ ）内は全国との差

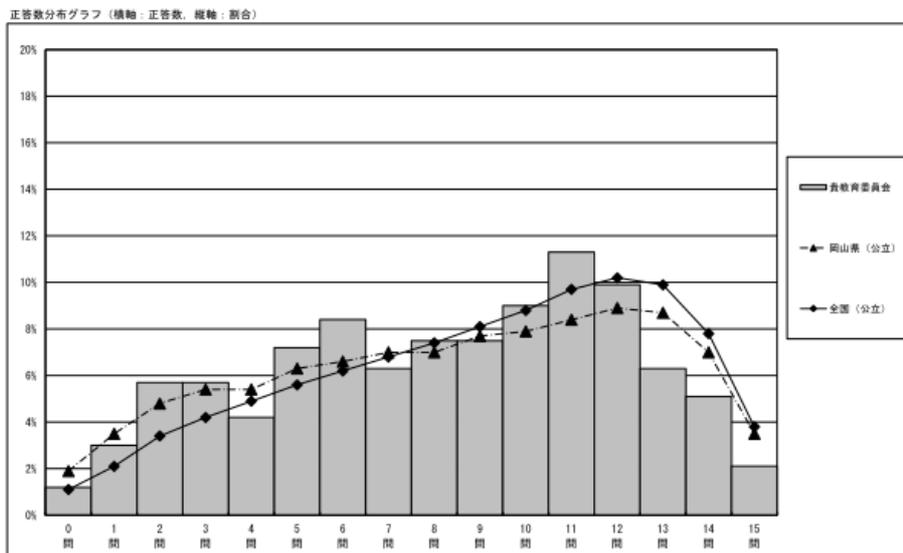
	数学A（基礎）	数学B（活用）
全 国	67.4	59.8
岡山県	65.4	55.9
瀬戸内市	63.8（▲3.6）	54.7（▲5.1）

○正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：分布人数の割合）

（中学校3年 数学A）



（中学校3年 数学B）



(調査結果の概要)

○国語A

平均正答率で全国平均と県平均を下回っています。主語を置き換えて叙述の仕方などを適切に書き換える問題、話合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する問題で課題が見られました。

○国語B

平均正答率で全国平均と県平均を下回っています。活用について課題が見られます。その中で、本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る問題については、全国平均を上回る結果となっています。

○数学A

正平均正答率で全国平均と県平均を下回っています。各設問においてそれぞれ課題が見られます。特に、 n 角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ問題では、全国平均正答率と比べ、大きく差があり課題が見られました。

○数学B

平均正答率で全国平均と県平均を下回っています。各設問においてそれぞれ課題が見られます。活用について大きく課題が見られます。

4 質問紙調査の結果

◎ 全国平均と比較した瀬戸内市の子供たちの現状

○ 肯定的に答えた割合が全国よりも特に高い項目

項	目
○	1, 2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。
○	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館によく行く。
○	数学の勉強は好き。
○	普段（月～金曜日）、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの利用時間が短い。
○	1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
○	数学の授業の内容はよく分かる。
○	今住んでいる地域の行事に参加している。
○	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることはあまり難しいと思わない。
○	先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。
○	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことはあまり難しいとは思わない。
○	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う。
○	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事によく参加する。
○	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

○ 肯定的に答えた割合が全国よりも特に低い項目

項 目
● 土曜日や日曜日など学校が休みの日の、1日当たりの勉強時間。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)
● 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりの勉強時間。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)
● 家で、学校の授業の復習をする。
● 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をする。
● 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
● 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
● 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる。

(質問紙調査からみられる本市の特徴)

- 小学校6学年の調査結果にも見られましたが、授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う生徒の割合、また、授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う生徒の割合が高くなっています。
- 小学校6学年の調査結果にも見られましたが、昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館によく行くと回答した生徒の割合が高くなっています。
- 平日、休日ともに、1日当たりの勉強時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)が短い傾向があります。
- 家で、学校の授業の復習が十分でないと思う生徒が多い傾向があります。
- 地域の行事に参加している割合は全国平均より高く、地域との関わりを大切にしている様子がうかがえます。